

副反応の心配で不安定になる利用者のお話を一番身近なところでヘルパーは聞いています。ある精神障がいのある利用者さんは、主治医や周りから勧められ嫌と言えず、精神的に混乱し当日にキャンセルすることにしました。この方だけでなく、日常生活のリズムまで乱れてしまった方もいます。

接種後の副反応の対応にも追われています。高熱、嘔吐、体調が悪くなった場合は、ケアマネジャーや家族に連絡し、医療につなげ様子を見ています。ケア内容の変更や時間の変更、コロナワクチン接種の為に柔軟な対応が求められながら、今日も、車、バイク、自転車でヘルパーたちは猛暑の中市内を走り回っています。

(ケアサポートえん／川口敏子)

多機能ホームまどか

「私、熱があるみたい」。Hさんの妻から電話があったのは17:50。利用者さんのコロナワクチン接種について体調が悪くなることも想定していたけど、家族！？しまった、甘かった…。今日は夜勤者がいないし、訪問でご飯を食べてもらって、就寝前のケアをすれば乗り切れるか？夜間は宿直対応で何とかしよう。

急なケアに若手のスタッフ2名が「自分行きます」と手を挙げてくれ、明るい未来を見ることができました。21時過ぎまで滞在し、まどかでは稀な長時間型の訪問でした。



(多機能ホームまどか／中本嘉子)

デイホームえん

今年の七夕の短冊は「みんなが笑顔で過ごせますように」、「宝くじがあたりますように」に混じって、「マスクがはずせますように」。

利用者さんは、若年認知症の方をのぞいた全員が2回接種を終えました。99才のAさんもお変わりなく元気に来所されています。スタッフも全員終わりましたが、若いスタッフは翌日に39℃の高熱が出て倦怠感が続くといった症状に苦しんだ一方、なんともなかった人もいて、いろいろです。



(デイホームえん／吉村桂子)